

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	番号 ばんごう
霜ばしらざくざく鳴らす音楽隊	体育は生徒半袖寒すぎて	冬の朝公園行けば厚氷	かじかむ手友達と手を温めて	秋の朝黄色いイチョウがひらひらと	秋の山赤・黄・橙彩って	紅葉狩り頭に乗った紅葉の葉	紅葉ちる秋の朝日に一つだけ	真つすぐと赤く染まった紅葉の葉	秋になり石焼き芋の声聞こえ	上の句 かみく
しもばしらざくざくならしすおんがくたい	たいいくはせいとはんそでさむすぎて	ふゆのあさこうえんいけばあつごおり	かじかむてともだちとてをあたためて	あきのあさきいろいいちようがひらひらと	あきのやまあかさおれんじいろどって	もみじがりあたまにのつたもみじのは	もみじちるあきのあさひにひとつだけ	まつすぐとあかくそまつたもみじのは	あきになりいしやきいものこえきこえ	下の句 しもく
みんなの町にも訪れている	先生長袖うらやましい	見かけて触るキンキン冷たし	こんな辛さも冬の楽しみ	いつものすずめさむくないかな	空も綺麗に赤・黄・橙	秋を知らせる真つ赤な夕日	目立っているのは緑の紅葉	いつか葉は散り秋は悲しき	財布を持ち出たときは遅し	作者 さくしゃ
ルビー	こっついていー	秀	依沫 慧	しゅうまい	ハナ	たこやき!	紅葉	つきみだんご	みゆみー	